

講義名称	日本文化財論	担当教員名	高山 有紀
科目群	人文学 (HUM)		
科目区分等	芸術	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	HUM153

授業のキーワード	重要文化財（国宝）、世界遺産、地域と文化財		
授業の概要	奈良や京都の著名な文化財、群馬の文化財等を通じて、「文化財とは何か」について学びます。		
期待される学習成果（目標）	1、歴史の学習で触れてきた文化財について、改めて正しい知識を得ることができます。 2、めざましく変動する現代社会において、普遍的な価値が存在するのか、ともに考えることができます。		
授業展開			
回	テーマ	内 容	
1	はじめに	授業の進め方について説明します。	
2	文化財の基礎知識	文化財に関わる基本的な用語の意味や、文化財保護法について学びます。	
3	建造物①	重要文化財や世界遺産に指定されている文化財のうち、建造物を題材に学びます。	
4	建造物②	重要文化財や世界遺産に指定されている文化財のうち、建造物を題材に学びます。	
5	建造物③	重要文化財や世界遺産に指定されている文化財のうち、建造物を題材に学びます。	
6	美術工芸①	重要文化財や世界遺産に指定されている文化財のうち、彫刻を題材に学びます。	
7	美術工芸②	重要文化財や世界遺産に指定されている文化財のうち、彫刻を題材に学びます。	
8	美術工芸③	重要文化財や世界遺産に指定されている文化財のうち、絵画・工芸品を題材に学びます。	
9	美術工芸④	重要文化財や世界遺産に指定されている文化財のうち、絵画・工芸品を題材に学びます。	
10	美術工芸⑤	重要文化財や世界遺産に指定されている文化財のうち、絵画・工芸品を題材に学びます。	
11	美術工芸⑥	重要文化財や世界遺産に指定されている文化財のうち、絵画・工芸品を題材に学びます。	
12	書籍・古文書①	重要文化財や世界遺産に指定されている文化財のうち、書籍・古文書を題材に学びます。	
13	書籍・古文書②	重要文化財や世界遺産に指定されている文化財のうち、書籍・古文書を題材に学びます。	
14	群馬の文化財	国の重要文化財を中心に、群馬の文化財について学びます。	
15	まとめ	本講での学習内容を総括します。	
定期試験	文化財1点を選び、レポートを作成します。		
評価方法	授業への取り組み（リアクションペーパーの内容を含む）30パーセント、レポート70パーセント		
使用する教科書（必ず購入してください）	プリントを配布します。		
参考文献	立正大学仏教学部監修『文化財保存学入門』（丸善プラネット） 榊原悟監修『すぐわかる絵巻の見かた』東京美術 人見春雄ほか編『図解 文化財の見方 ー歴史散歩の手引』山川出版社		